

西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

2010年10月20日発行 Vol.85 発行者：会長 森田正樹 編集：広報部

フランスを知ろう～シリルさん・トマさんを囲んで特別茶話会編～

長く厳しい夏が終わり、待ち望んだ秋の気配をようやく肌で感じられるようになった10月2日(土)の昼下がり、フレンテ4F国際交流協会にて「フランスを知ろう～特別茶話会編～」が開かれました。今回のゲストは、6月にもお話を下さったアジャン出身のCyrille Dalgrande(シリル・ダルグランデ)さん。年末まで日本に滞在予定でしたが、残念ながら10月末で日本を離れなければならないとの連絡を受け、急きょお招きすることになりました。持ち寄りのお菓子などを食べながら、フランスや日本のこと、シリルさんの日本滞在中のエピソードなど、日仏両語を交えて楽しく語り合いました。また、もう一人のゲストに、やはりアジャンからきたThomas(トマ)さんを迎え、総勢11名の素敵な午後のティータイムは和やかな雰囲気になりました。



その後、参加者のうちの何人かはシリルさんとトマさんと一緒に西宮えびす神社に足を伸ばし、森田会長と合流、開催中のイベント『酒ぐらルネッサンス』の賑わいを楽しみつつ、西宮の秋を満喫しました。

少林寺拳法を通じて、何度も来日されているシリルさん。運よく観光ビザが取れたら、11月に再び日本に戻ってくるということです。またの再会を願って、A tres bientot !! (川合晶子さん・記)

トマさんを西宮観光へご案内



10月2日のシリルさんを囲んでの茶話会の時、トマくんが「東京、京都、広島、大阪はあちこち行ったのに、西宮はフレンテだけしか行ってない～」と言うので、「それは、かわいそう～アジャンと姉妹都市なのに、市民の会としては、このままフランスに帰す訳には...」と、10日、西宮を案内することにしました。市民の会の中でも貴重なmademoiselle会員の吉田さんと川合さんのかわいいお嬢さん方が来て下さり、ほんわか楽しい時間を過ごしました。(2頁に続く)

まずは、トマくんのリクエストで、北山植物園へ。奥のお茶室で、手入れのいきとどいたお庭を見ながら、おいしい秋の和菓子とお抹茶をいただきました。小雨が降ったりやんだり、それがまた風情があり、あざやかな緑色の苔もビロードの絨毯のようでした。

次に、定番の酒蔵ミュージアムへ行きました。トマくんのお父さんがパン屋さんとは知らなかった。トマくん自身、パンもケーキも作れるそうで(もっと早く聞いていたら、作ってもらったのに)「えー! ビゴさんに会ってないの!? そら会いにいかな!!」と、新しくできたという夙川のお店を訪ねましたが、あいにく、社長は東京出張中で残念でした。お店の中で、「このケーキは、フランスのスタイルそのままだ!!!」と、目を輝かせて、ケーキのショーケースを興味津津で見ている姿が印象的でした。

夕食は、宝塚まで足を延ばし、「宝塚がんこ」で、シリルさん、牛田さんご夫婦と、ご主人のお知り合いのアフリカから研修に来られた二人の研究者の方も一緒に楽しくいただきました。古い和風の大邸宅が一軒丸ごとレストランになっていて、お庭もとてもきれいし、リーズナブルでおすすめです。トマくん、実は結構ゲラで…。本当に楽しい一日でした。吉田さん、川合さん、牛田さん、ご主人様、ありがとうございました。(榎尾裕美子さん・記)

トマさん、フランスへ帰国

今年の4月、友好都市のアジャンからワーキングホリデー・ビザで来日していたトマ君が、親族にご不幸があるなどの事情で、予定を早めて10月14日にフランスに帰国しました。東大阪のホストファミリーのところに滞在しつつ、お好み焼き屋さんでアルバイトをしたり、日本語教室に通ったり、ホストファミリーの息子さんと旅行をしたり、充実した日本での生活だったようです。

NLeGにも、総会、シリルさんの「フランス語でしゃべろう」イベント、フランス語教室の臨時講師としてなど、何度か顔を見せてくれました。会員の川元さん宅にお食事にご招待いただいたりもしました。

10月2日のフランス語部主催の交流会に参加、そして、そのあとは西宮えびす神社で行われていた『酒ぐらルネッサンス』に会員有志と繰り出し、存分に日本酒を試飲、帰国前の10日にはフランス語部の方たち数名と西宮を観光するなど、楽しい時を分かち合うことができました。

覚えた日本語でトマ君が書いた挨拶が届きましたので、ご披露いたします。

(佐藤祥子さん・記)

こんにちはみなさん!(^_^)

私は10月14日からフランスに帰るから悲しくなる。

しかし、日本に来たからめっちゃ楽しかった!^^

西宮の人はとても親切でした。本当にありがとうございました。

フランスに来る時にもう一回会いましょうね!^o^

Peut-être nous reverrons nous pour le voyage
qui aura lieu en 2012, qui sait...

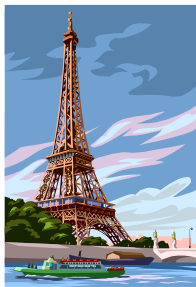
(もしかしたら2012年の旅行の時に再会できるかもしれないですね。)

En attendant cette nouvelle rencontre, prenez soin de vous.

Amitiés.

(また次にお会いできる時まで、みなさんお元気で。友情をこめて)

Thomas.



フランス語教室便り

Bonjour みなさま。横山豊宥と申します。

ロット・エ・ガロンヌ、アジャン市との関わりは、西宮市と姉妹提携後、交換留学生として来日したステファニー・ラカリエル、アンヌ・フロニーの二人の神戸 YWCA 学院での日本語学習の教師として以来ですから、ずいぶん長い年月になります。

その間、アジャンを訪問したりもしましたが、『友の会』の催しにはほとんど参加しておらず名のみの会員で申し訳なく思っております。そのうえフランスに関する知識も乏しく、フランス語もろくに話せないようでは情けないなあと思っていましたところ、佐藤先生の初歩からのフランス語教室が開かれることになり、このチャンスを逃してはならぬとばかり...、今に至っておりますが日々忙しく、参加するのが精一杯でなかなか身につけません。

落ちこぼれ生徒で先生には申し訳ないのですが、クラスのムードが良く、和気藹々と楽しく勉強させていただいています。

今年六月にはフランス、リヨンの近くに禅堂が開かれ、落慶法要にでかけた折（私は尼僧でもありません）このフランス語教室でのレッスンが実践フランス語としてどれほど役だったことか！（テキスト 12 課がそのまま使えたのです！）。クラスの仲間もそれぞれに活かしていらっしゃるようで、この後続く報告をお楽しみに。

このように楽しい教室にもっと仲間が増えるといいですね。 A bientot. （横山豊宥さん・記）

美術部からのお知らせ

芸術の秋 11月21日（日）は 西宮市大谷記念美術館で美術三昧

恒例の秋の美術部スケッチ旅行を今年は、はるばる大谷記念美術館へ出かけます。

紅葉がみごとな庭園の写生・撮影、「アフリカの仮面と美術：生命と創造の大地」展の鑑賞、和室でお庭を見ながらの会食を予定しています。

スケッチをされない方も、展覧会の鑑賞とランチの参加を歓迎します。

午前10時現地集合、ランチの後自由解散。

費用：入館料 600 円(団体割引、なお、市内在住の 65 歳以上の方は 400 円)と弁当代(1500 円程度実費)だけ。和室の使用料は美術部が負担します。雨天決行

参加申込：11月11日までに、美術部/森田まで(昼間、大谷美術館へ連絡を)

TEL：0798-33-0164 FAX：0798-33-1699

(4頁に続く)



<開催中の展覧会>

「アフリカの仮面と美術：生命と創造の大地」

人類の息吹が生まれた場所ともいわれる大地、アフリカ。このアフリカ大陸には多種多様な民族が生活し、また、いくつもの優れた造形を生み出した文化や王朝が存在しました。今回は、アフリカ美術のハイライトともいわれる西アフリカのさまざまな民族が制作した仮面、彫刻、装身具など 120 点を展示します。

「館蔵名品選」梅原龍三郎、児島善三郎、林武、岡鹿之助らの名品 19 点。

展覧会は 11 月 28 日（日）まで開催（水曜日休館）。11 月 3 日は「関西文化の日」で無料開館。
（写真は、ロビーから眺めた庭園。秋には赤く色づきます）（森田正樹さん・記）

Members now

昨年、入会された若いパパ、中正成則さんに、前回に続きフランスの思い出を投稿いただきました。

「Lille のお天道様」



今日は留学時代を過ごした Lille での生活に話を移したいと思います。Lille はフランス北部の中心地で、Paris から TGV で 1 時間、ベルギーのブリュッセルからは 30 分、そしてイギリスロンドンまでは 1 時間 30 分という、交通の要所でもあります。ベルギー国境を気軽に越えることができる立地ですので、街の雰囲気もベルギーに似ております。そして北部ということもあり、何よりも「青空」が恋しくなるようなお天気が 1 年のうち半年以上は続くような日々でした。

Lille へ 1 年間留学するまでは、1 カ月だけ、しかも 8 月とか 9 月だったので、1 年を通して一番天候が良い季節しか知らないまま、「フランスは天候も最高だ！」と勘違いしていたことを、後から気づくことに。具体的には、朝一番、一瞬だけ青空が見えた、と思ったのも束の間、みるみると雲が空を埋め尽くしていきます。そしてあっという間にいつもの曇り空…。ヨーロッパの方々が、日光浴を好んでする理由がわかる気がしました。

日本の太平洋側・瀬戸内海側で育ってきた自分の中で、「太陽とはこれほどまでありがたいものなのか...、自分は太陽なしでは生きられないな...」と、存在の偉大さに気づかされました。でも同じ日本でも、日本海側の知り合いの方いわく、「Lille の天候はそんなに気にならない」とのこと。また、娘のフランス語の先生をしていていたブルターニュ出身のフランス人いわく、「曇り空のほうが落ち着く」と言っていました。やはり人間も動物で、自分が生まれ育った環境は、体に染み付いているものだと強く感じました。お天道様いつもありがとう！

（中正成則さん・記）

会員の藤枝知子さんに、前回に続きフランス事情を投稿いただきました。

「クール ジャパン」

クール ジャパンという言葉をご存知ですか？NHKの番組名でもありますが、「世界で新旧の日本文化がどれだけ歓迎されているか」ということです。特にゲーム・漫画・アニメ・JPOPなどのポップカルチャーは、今やフランスをはじめとする世界中の若者に支持されています。「パリ・ジャパンエキスポ」での大盛況ぶりは毎年のように日本のニュースでもとりあげられています。

実際、パリやパリ以外の田舎ではどうなのか、私が目にした範囲でお伝えしようと思います。

食べ物について.....お寿司は田舎のスーパーでも寿司パック（きゅうり巻き、サーモン、海老くらいの具しかない。時々ナスやピーマンのマリネの具の寿司を見かけます）は置いてあります。フランスでは、ライスはサラダと認識されていて、ノンオイルな動物性たんぱく質しか使用されないお寿司は、ダイエットや健康にとっても良い！と思われています。また、“かにかま”が「surimi」と言う名称で大ブレイクしていて、いろいろな食品メーカーがオレンジ色のかにかまを売っています。最近ではBIO食品専用のスーパーも、田舎町ですら数店舗あつたりで、そこでは体に良いとされる日本食“豆腐”を使った豆腐ソーセージ、燻製豆腐、ハーブ豆腐や普通の豆腐が大人気です。しょうゆ、ミソ、ごま塩、ブルターニュの昆布なども買うことができます。また、グリコのポッキーがMIKADOという名前で普通のスーパーでも手に入れることができるほど普及しています。



スポーツ.....フランスで人気のある二大スポーツでサッカーと並ぶ人気の一つは、柔道です。どの田舎都市にも道路の標識に「DOJYO」(道場)を見つけることができます。幼稚園から高校まで、体育の時間に取り入れられ、道場には柔道の創始者・嘉納治五郎の写真が飾ってあり、一礼してから授業が始まります。また合気道・相撲・K-1も人気があります。



JPOP およびアイドル.....フランスでは若者向けのアイドルが不在(実力派のみが存在)で、ネットで調べたのが、ARASHI やモーニング娘。などの正統派アイドルもひそかに人気があります。日本ではあまり人気のないアイドルでもなぜか熱狂的ファンがいたりします。ゴシックロリータなどの服装も、時々田舎町のお祭でも見かけます。またフランス革命で否定したはずの王室に対しても、他国の皇室・王室が気になるようで、皇太子殿下の妹君の黒田清子さんのご婚約・ご成婚のニュースも、普通にフランスのテレビで報道されていて驚いた記憶があります。

服.....KENNZO などの高級ブランドは以前から日本よりも人気です。2010年春にパリ・オペラ座付近でオープンしたユニクロは、パリっ子には超人気だそう。パリ在住のフランス人に聞いたところ「3度訪ねて、3度ともあまりの混雑で入場制限があり、結局見るができなかった」ほどだそうです。

映画.....キタノ(北野武)映画はDVDでよく売られています。宮崎駿アニメはどここの家にもDVDがあるといっても過言ではありません。数年前も日本領事館主催でスタジオジブリのワークショップを開いて、アニメ上映会とアニメーターによるアニメの描き方教室なんかを数カ所で行い、大盛況だったそうです。また、オタク向けの日本アニメのDVDが田舎のお店でも売られています。日本の子供向けアニメもほとんどテレビで見ることができます。

(6頁に続く)

まんが.....どこのスーパーでも書籍コーナーの半分を占める勢いで“MANGA”のコーナーがあります。日本よりちょっぴりお高いですが、人気のまんがは日本で新刊が出るとすぐにフランス語で翻訳されて売られます。あるフランス人に「TOMOKO、MANGA って知ってる？Bande dessinée のことだよ！」と元気よく質問されました。Bande dessinée というのは、TINTIN（これはベルギー作家のものですが）に代表されるフランスの昔からある漫画で、このフランス人はMANGA が日本からやってきたものだという事を知らずに日本人の私に説明してくれたのでした！

番外編.....ポケモンカード、遊戯王カードなどのカードゲームは、マーケットが大きな国ではその国の言語で印刷されて売られています。（アメリカ、スペイン、フランス、イタリア、ドイツなど）。また、昔ながらのおもちゃ屋には、TAMIYA のプラモデルが日本語のパッケージのまま高級品として売られています。

ざっと思い出すだけでも、こんなに日本の文化がフランスなどの海外で興味を持たれ、日常生活に入りこんでいます。また、元々は日本人向けに描いた漫画の内容で、日常の日本文化（日本人の何気ないしぐさ、考え方、そばやたこ焼きなどの軽い日本食など）を自然に海外の人たちに普及してくれるなんて、子供の頃には想像もしなかったことです。日本文化がクール（カッコイイ）と言われて、とても嬉しいですね。
(藤枝知子さん・記)

petite annonce

オリヴィエ・ムラン氏 ピアノ・リサイタル

10月31日(日) 宝塚ベガ・ホール



オリヴィエ・ムラン氏は、フランス・リヨンのコンセルバトワールなどを経て、オーストリアの国立モーツアルテウム音楽大学出身。2009年夏から、国際ピアノフェスティバル「ラ・ロック・ダンテロン」に招聘され、リサイタルを開くなど活躍されています。日本人ピアニストである奥様のおばあさまが西宮在住という、西宮にもゆかりのある方ようです。
(藤枝さんからの情報です)

日時：10月31日(日)

午前11時～ オリヴィエ・ムランと遊ぼう(子供対象) ドビッシェ、ショパンほか

午後4時～ ピアノ・リサイタル(一般対象) シューマン、ショパン、リストほか

入場料： 全席指定 2,500円(当日3,000円)など

編集後記：文化交流、美術、音楽...、皆さんはどんな“芸術の秋”を楽しめますか？われらが広報部長、池田壺和さんが奮闘されている「船坂ビエンナーレ」も11月14日まで！また、フランスの国民的人気物語の実写版「プチ・ニコラ」や、コレット原作の「わたしの可愛い人 - シェリ」(残念ながら英語ですが、撮影はバリ近郊)などフランスがらみの映画も楽しみですね。(池本新子)

事務局:〒662-0911 西宮市池田町 11 - 1 フレンテ西宮 4F 秘書国際課内

TEL:0798-35-3468 FAX:0798-32-8673 <http://nleg.net> e-mail:info@nleg.net